北九州

12/1

2026 令和8年

Kitakyushu Action!
動かせ、未来。北九州市

市政だより No.1519【毎月1日・15日 発行】

主な内容

特集 …… 1~2
パラスポーツ

トピックス …… 3~4
- 大・松尾スズキ展 ―松尾スズキの脳内観光―
- いざというときに備えよう。119番通報について　など

まちがいファイブ …… 5
情報ステーション …… 6~11

＊最終ページは人口データと若松区の情報

特集 パラスポーツ

やりたいことを、諦めない。

私たちがつかんだ世界と、その先へ



デフバスケットボールの日本代表として、「東京2025デフリンピック」で史上初の金メダルに輝いた北九州ゆかりの3選手。競技を続けること、学業や仕事、家族との時間、未来への思い。それぞれの選択に向き合いながら挑戦を続ける3人の言葉から今を生きるヒントを探ります。

紙面に載せきれなかったお話はコチラ▶

世界一までの道のり

勝負は、最後の2試合から一気に接戦へ

準決勝のウクライナ戦は、相手に日本の戦術を分析され、苦しみながらも勝利。続く決勝では、前回王者のアメリカと対戦。前半リードしながらもアメリカに追い上げられ、終盤まで一進一退。最後まで仲間を信じて戦い抜き、65−64で勝利しました。

接戦の末 頂点に

TOKYO 2025 DEAFLYMPICS GOLD MEDAL

準々決勝
日本 オーストラリア
98 - 53

準決勝
日本 ウクライナ
62 - 57

決勝
日本 アメリカ
65-64

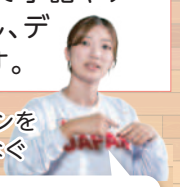


デフバスケットボールって?

聴覚に障害のある人がプレーするバスケットボールです。

ルールは一般のバスケットボールと同じで、公平を期すため全員が補聴器をはずします。そして手話やチームで決めたハンドサインで情報を共有し、デフならではのチームワークを生み出します。

聞こえないコートで、どう伝え合う?



サインをつなぐ



審判の笛が聞こえないため、旗やランプを使う。

片手で出せるチーム独自のサインを使い、見た仲間も同じ動きを返し、コート全体に共有する。

音を「見える合図」に

後ろにいる仲間へ気づいてもらうため、足踏みの振動で知らせることも。

アイコンタクトや仲間の動きを見て、次のプレーを判断。



目でつながる

世界一の、その先へ。3人それぞれの挑戦

羽田まりな選手



持ち味
相手を翻弄(ほんろう)するフェイント&ドリブル力

「好き」が、続ける力になる

大学生活と日本代表の活動を同時進行する中、思うようにバスケットができない時期もありました。それでも続けてこられたのは「やっぱり、バスケットが好きだから」。自分が本当にやりたいことを貫き通したから、金メダルという結果をつかむことができたんだと思います。

沼口紗也選手



持ち味
試合の流れを変えるスピードと速攻力

次の世代へ、バスケをつなぐ

子どもを育てながら日本代表として世界に挑戦し続けられたことは私の誇りです。両立に葛藤はありましたが、周りの人に頼ることも大切だと実感しました。今後は福岡や北九州でイベントを立ち上げ、未来のデフアスリートや日本代表を目指す子どもたちを育てていきたいと思っています。

藤田彩音選手



持ち味
ルーズボールを逃さないパワフルプレー

「今」を大切に、自分で選ぶ

結婚後、競技を続けるのか、これからの人生をどう描くのか。迷いながら進んでいます。「後悔しないように、今やりたいことを大切にしたい」。今の時間を大切にして、自分自身の人生と向き合いながら、私らしく、これからも挑戦を続けていきたいと思います。

市長からのメッセージ

北九州市には、パラスポーツとともに歩んできた歴史があります。産業都市として発展する中で、早くからリハビリテーションや障害のある方の社会参加に取り組み、パラスポーツがまちの文化として根付いてきました。

パラスポーツを見ていると、競技ならではの工夫や、仲間と意思を通わせるさまざまな方法の豊かさに気づかされます。力を合わせ、挑戦し、喜びや悔しさを分かち合う。その姿は、スポーツの持つ奥深い力そのものです。

見る、応援する、そして実際に楽しむ。パラスポーツに親しむ輪を広げながら、障害があってもなくても、誰もが挑戦でき、互いを尊重し合える共生社会を、皆さんとともにつくっていきます。ぜひ皆さんも応援にお越しくださいね。

北九州市なら、必ず、できる!



北九州市長 **武内 和久**

市政・生活情報の問い合わせ 北九州市コールセンター ☎582・4894（1月1日～3日を除く・8時30分～20時） FAX.582・3318

View the web version in your languages.

【編集・発行】北九州市企画・マーケティング課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1 ☎582・2236 【北九州市ホームページ】▶